

# SCP-MA7-N

## ユーザーズマニュアル

Ver.1.0.1

2007/10/1

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。  
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。  
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright(c) 2007 Yamaha Corporation

All rights reserved

## &lt;更新履歴&gt;

Ver.	Date	内容
1.0.1	2007/10/1	新規作成

## <目次>

1	概要	4
1.1	SCP-MA7-N の機能	4
1.2	対象フォーマット	4
1.3	推奨動作環境	4
1.4	インストール	4
2	アプリケーションの起動と終了	5
2.1	アプリケーション構成	5
2.2	起動	5
2.3	終了	5
2.3.1	メニューバー	5
2.3.2	Close ボタン	5
2.3.3	その他終了操作	5
2.4	ファイル処理	5
3	ウィンドウ	6
3.1	SCP ウィンドウ	6
3.1.1	メニューバー	7
3.1.2	リストビュー	8
3.1.3	システムメニュー	8
3.2	Plugin Setting ダイアログ	9
3.3	SCP-MA7-N-SM プラグインダイアログ	10
3.3.1	Information	10
3.3.2	Version	12
3.4	プログレスダイアログ	13
3.5	上書き確認ダイアログ	15
4	初期設定ファイル	15
4.1	Plugin_SM7_N40.ini	15
5	入出力	16
5.1	入力ファイル	16
5.2	出力ファイル	16
5.3	ログファイル	16
5.3.1	ファイル構成	16
5.3.2	書式	16
6	エラー表示	18
6.1	ファイル処理エラーメッセージ	19
6.1.1	SMAF 読み込み時のエラーメッセージ	19
6.1.2	変換エラー&警告メッセージ	19
6.1.3	DLL 共有エラーメッセージ	20
6.1.4	CnvMA7SMAF.DLL メッセージ	20
6.1.5	CnvMA7MFi_N.DLL メッセージ	21
6.2	メッセージボックスで出るエラーメッセージ	23
7	変換の注意点	24

## 1 概要

本ドキュメントは SCP-MA7-N の使用方法を記述したものです。

### 1.1 SCP-MA7-N の機能

SCP-MA7-N は、SMAF/MA-7 (Synthetic Music Mobile Application Format MA-7) を MFi4.0(NEC)(Melody Format for i mode for NEC Ver4.0)に変換をおこなう、Windows®2000、Windows®XP 上で動作するアプリケーション・ソフトウェアです。

### 1.2 対象フォーマット

入力フォーマット	SMAF/MA-7
出力フォーマット	MFi4.0[NEC/902 以降]

※SMAF に表示系情報が含まれていた場合、MFi への変換では完全に無視されます。

### 1.3 推奨動作環境

本アプリケーションは、以下に準じた動作環境が必要です。

対応オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® 2000
CPU/クロック	Pentium®/Celeron™ または互換プロセッサ 266MHZ 以上
メモリー	64MB 以上
必要なハードディスク空き容量	40MB 以上

### 1.4 インストール

インストーラは用意しません。 適当な位置にファイルをコピーして使用してください。

## 2 アプリケーションの起動と終了

---

### 2.1 アプリケーション構成

---

ファイル構成は、ファイルの入出力を行なうアプリケーション本体部と、データの変換を行なう2つのプラグイン部で構成されます。

ファイル名	内容
SCP.exe	アプリケーション本体
Plugin_SM7_N40.dll	SMAF/MA-7 → MFi4.0/NEC コンバータプラグイン
-¥Plugin_SM7_N40¥-	SCP-MA7-N-MS( MFi4.0(SMAF/MA-7 → MFi4.0(NEC)) プラグイン用ディレクトリ
CnvMA7MFi_N.dll	MFi4.0(NEC) → SMAF/MA コンバータ
CnvMA7SMAF.DLL	SMAF/MA-7 → SMAF/MA コンバータ
CnvMA7SMF.DLL	SMF/MA-7 → SMAF/MA コンバータ
Plugin_SM7_N40.ini	Plugin_SM7_N40 初期設定ファイル

### 2.2 起動

---

SCP.exe またはショートカットをダブルクリックするか、スタートメニューの「ファイルを指定して実行」でファイル名を直接入力します。

### 2.3 終了

---

#### 2.3.1 メニューバー

File(F) → Exit(X) の選択で終了します。

#### 2.3.2 Close ボタン

メインウィンドウ右下の「Close」ボタンの操作で終了します。

#### 2.3.3 その他終了操作

タイトルバーのシステムメニューより「閉じる」を選択、タイトルバー右の閉じるボタン(☒)を選択、またはメインウィンドウがアクティブになっている状態で[ALT]+[F4]([Alt]を押しながら[F4])を押します。

### 2.4 ファイル処理

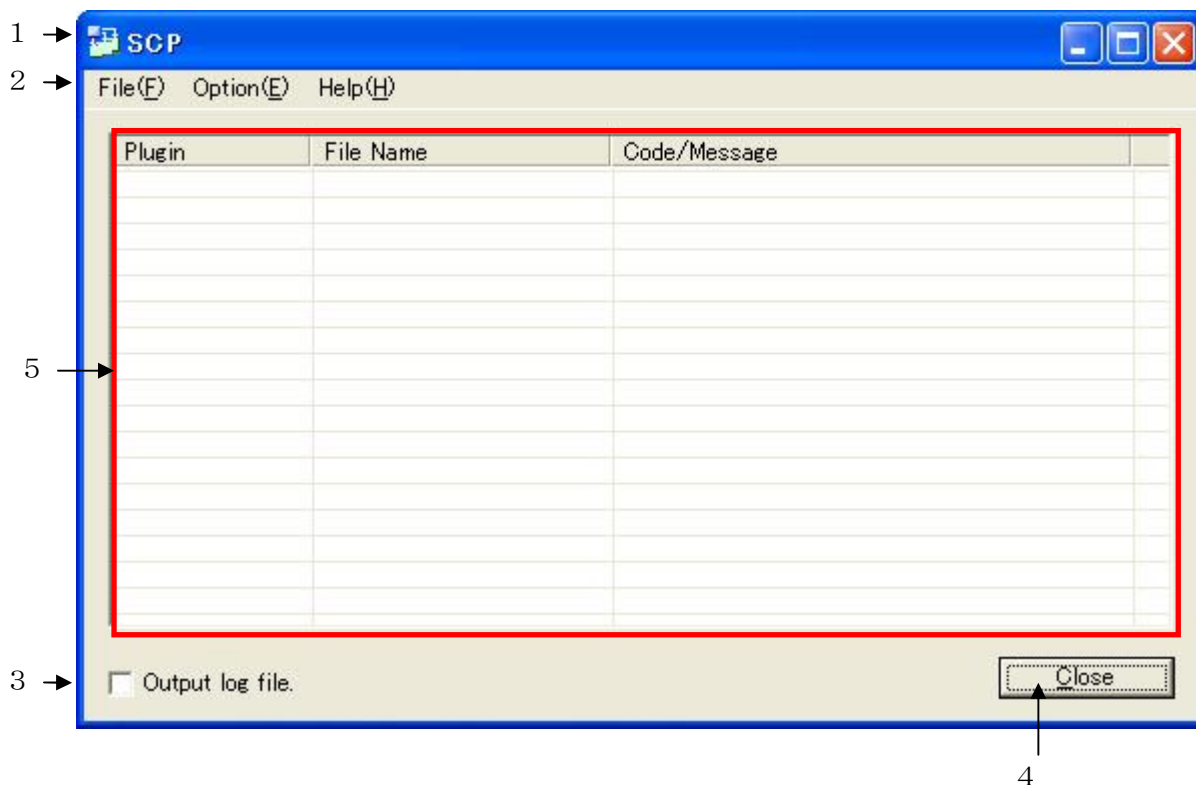
---

メインウィンドウ上に、変換対象となる SMAF/MA-7 をドラッグ & ドロップするだけでファイルの変換処理を行います。

### 3 ウィンドウ

#### 3.1 SCP ウィンドウ

メインダイアログです。アプリケーションの起動と同時に表示されます。

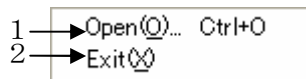


＜図 3-1＞ メインダイアログ

No	機能名	内容
1	タイトルバー	タイトルバーではアプリケーション名の' SCP' のみ表示します。 複数ファイルの一括処理にも対応するため、ファイル名の表示など行いません。
2	メニューバー	File メニュー、Option メニュー、Help メニューがあります。
3	Output log file. チェックボックス	出力ファイル名のリストとなる処理結果のログとエラーログ ＜3.1.2 リストビュー に表示されるものと同等＞に表示されるものと同等の出力を設定します。チェックした場合にログが出力されます。
4	Close ボタン	Close 表示のボタンをクリックすると、現在のダイアログを閉じアプリケーションを終了します。[Alt]+[F4]も同様です。
5	リストビュー	ファイル処理のエラー情報を表示します。

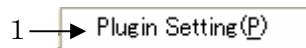
### 3.1.1 メニューバー

#### 3.1.1.1 File メニュー



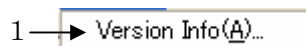
No	機能	内容
1	Open(O)	変換対象となる SMAF を指定するダイアログを起動します。 このメニューを使用した場合、同時に一つのファイルしか指定できませんが、メインウィンドウへのドラッグ & ドロップによる複数ファイルの同時指定、フォルダの指定も可能です。
2	Exi(X)	アプリケーションを終了します。

#### 3.1.1.2 Option メニュー

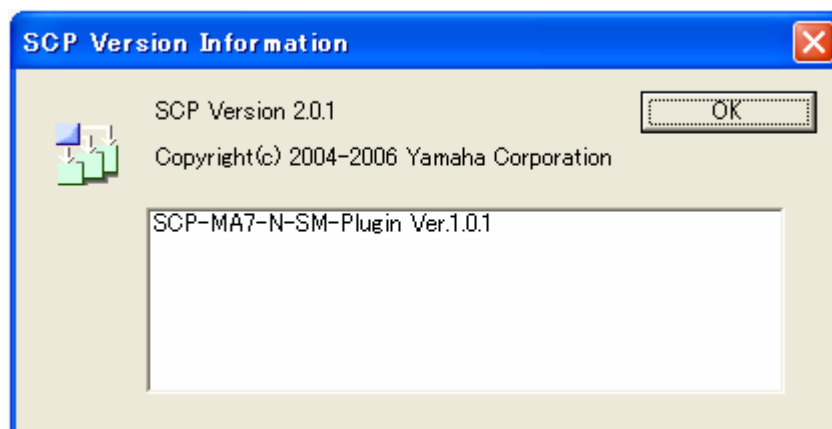


No	機能	内容
1	Plugin Setting(P)	Plugin Setting ダイアログ <3.2Plugin Setting ダイアログ> を起動し、Plugin の設定を行います。

#### 3.1.1.3 Help メニュー



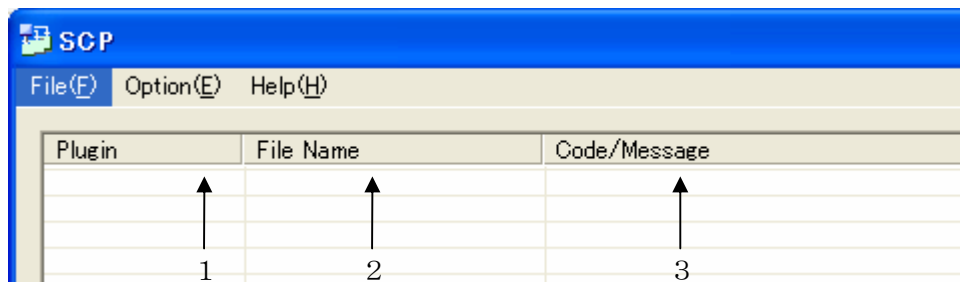
No	機能	内容
1	Version Info(A)	バージョンダイアログを開いて Version ダイアログが起動します。 SCP および Plugin のバージョン情報を表示します。



<図 3-2> バージョンダイアログ

### 3.1.2 リストビュー

ファイル処理のエラー情報を表示します。

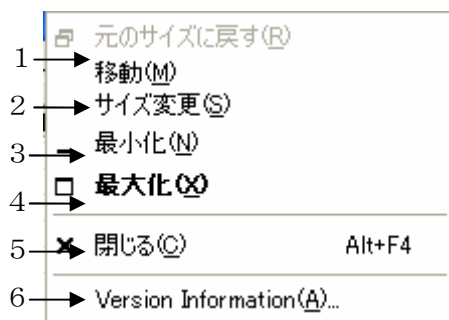


＜図 3-3＞メインダイアログ／リストビュー

No	機能名	内容
1	Plugin	変換対象の Plugin の DLL 名を表示します。 Plugin 毎の処理に入る前にエラーが発生した場合には何も表示されません。
2	Filename	変換対象のファイル名を表示します。
3	Code/Message	ファイル処理毎のエラー内容を表示します。 ( ) で示される番号はエラー情報の詳細解説で使用するインデックスと一致します。

### 3.1.3 システムメニュー

タイトルバーの左隅にあるアイコンをクリック、またはタイトルバーの任意のところを右クリックしてもシステムメニューが表示されます。



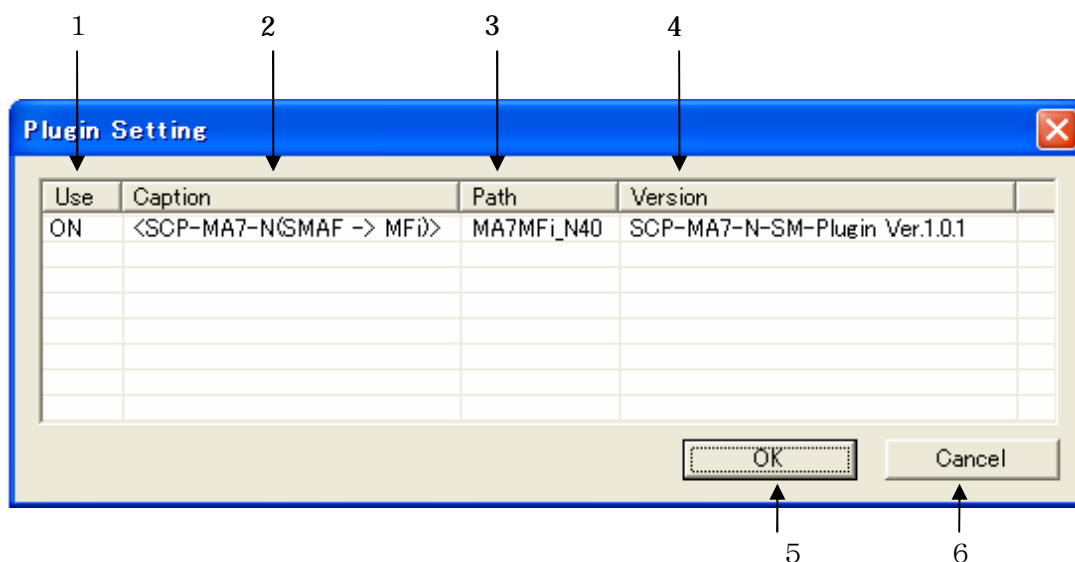
No	機能	内容
1	移動	方向キー(↑→↓←)またはマウスを使ってダイアログの移動が可能です。
2	サイズ変更	方向キー(↑→↓←)またはマウスを使ってダイアログのサイズ変更が可能です。 メインダイアログの角をマウスでドラッグ & ドロップしてもサイズ変更可能です。
3	最小化	メインダイアログの最小化表示を行います。
4	最大化	メインダイアログの最大化表示を行います。
5	閉じる	クリックすると、現在のダイアログを閉じアプリケーションを終了します。 [Alt]+[F4]も同様です。
6	Version Information(A)	SCP のバージョンを表示します。



## 3.2 Plugin Setting ダイアログ

Plugin の各設定を行います。

メニューバーの「Option」→「Plugin Setting」から起動します。



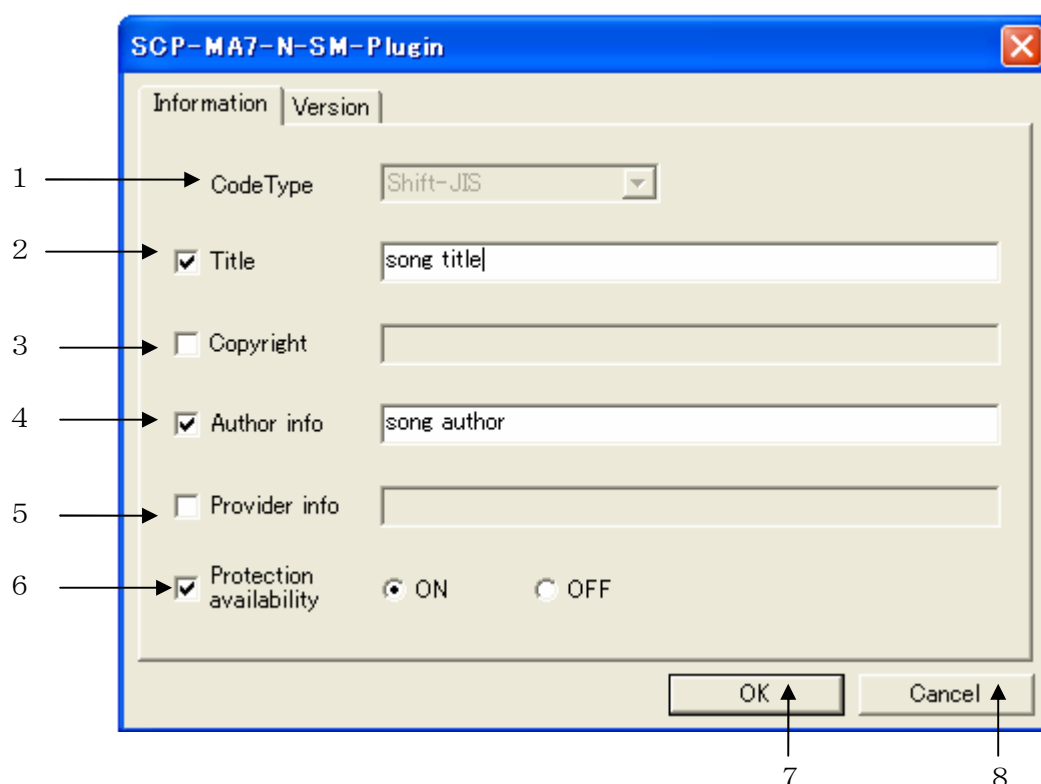
＜図 3-4＞ Plugin Setting ダイアログ

No	機能名	内容
1	Use	変換処理を行うかどうかの設定をします。 該当するセルのダブルクリックにより ON / OFF を設定します。 ON は変換処理を行う、OFF は行わないを意味します。 アプリケーション初回起動時のデフォルトは ON です。 アプリケーション終了時に ON/OFF 状態を保存します。
2	Caption	Plugin の変換対象に関する情報を表示します。 表示部分のダブルクリックにより拡張設定ダイアログ <a href="#">＜3.3 SCP-MA7-N-SM プラグインダイアログ＞</a> を起動します。
3	Path	入力ファイルと同じパスの 'Output' フォルダ以下の出力フォルダ名を 指定します。 ダブルクリックにより変更可能です。 但し、以下の条件では更新できません。 ・ 設定される文字列が 32 バイトを超えている。 ・ Path に使用できない '\$', '/', ':', ';', '*', '?', '\', '<', '>', ' ' の文字が使用され ている。
4	Version	Plugin のバージョン情報を表示します。 表示部分のダブルクリックにより拡張設定ダイアログ <a href="#">＜3.3 SCP-MA7-N-SM プラグインダイアログ＞</a> を起動します。
5	OK ボタン	設定を確定し Plugin Setting ダイアログを閉じます。
6	Cancel ボタン	設定を中止し Plugin Setting ダイアログを閉じます。

### 3.3 SCP-MA7-N-SM プラグインダイアログ

#### 3.3.1 Information

MFi に関する情報を直接指定します。  
 (複数ファイルを同時に処理する場合も共通に設定されます)  
 各項目の左端のチェックボックスをチェックすることでその設定が MFi 変換に対して有効になります。  
 ここで設定されない項目については、変換元の SMAF から情報を取得します。



<図 3-5> SCP-MA7-SM プラグインダイアログ/Information タブ

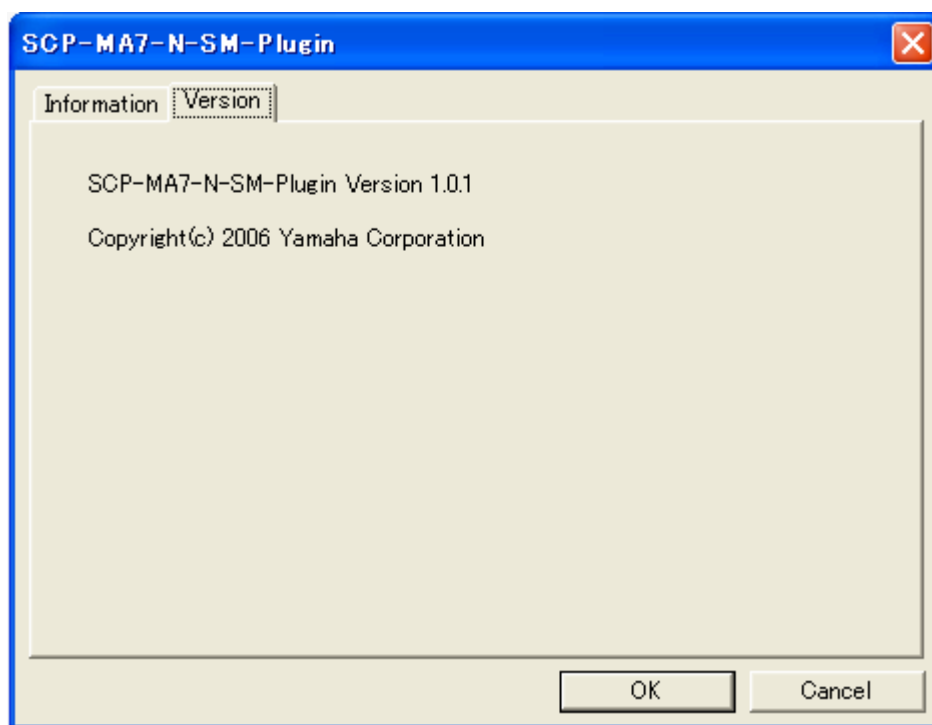
No	機能名	内容
1	Code Type	Shift-JIS 固定とします。
2	Title	左のチェックボックスにチェックを入れることで、 左のエディットボックスの設定を有効にします。 MFi のタイトル情報 ( titl )へ出力されます。 (注)MFi への出力は 50 バイトに制限されます。 チェックボックスにチェックを入れない場合は、変換元となる SMAF の 曲名(ST)タグから情報を取得します。
3	Copyright	左のチェックボックスにチェックを入れることで、 左のエディットボックスの設定を有効にします。 MFi の Copy Right 情報 ( copy )へ出力されます。

		(注)MFi への出力は 255 バイトに制限されます。 チェックボックスにチェックを入れない場合は、変換元となる SMAF の Copyright(CR)タグから情報を取得します。
4	Author info	左のチェックボックスにチェックを入れることで、 左のエディットボックスの設定を有効にします。 MFi の著作権管理情報 (auth) へ出力されます。 (注)MFi への出力は 255 バイトに制限されます。 チェックボックスにチェックを入れない場合は、変換元となる入力 SMAF の管理者 団体名タグ(GR)をコピーします。 また GR タグの無い場合は半角スペースとします。
5	Provider info	左のチェックボックスにチェックを入れることで、 左のエディットボックスの設定を有効にします。 MFi のデータ管理及び保護情報 (prot) へ出力されます。 (注)MFi への出力は 255 バイトに制限されます。 チェックボックスにチェックを入れない場合は、変換元となる入力 SMAF の Management info. (MI)タグをコピーします。 また MI タグの無い場合は半角スペースとします。
6	Protection Availability	左のチェックボックスにチェックを入れることで、 左のラジオボタンの設定を有効にします。 MFi の再配布不可識別子 (sorc) へ出力されます。 ON で再配布不可、OFF で再配布可に設定されます。 チェックボックスにチェックを入れない場合は、変換元となる SMAF の 転送可否設定から情報を取得します。
7	OK ボタン	設定を確定し Plugin Setting ダイアログを閉じます。
8	Cancel ボタン	設定を中止し Plugin Setting ダイアログを閉じます。

### 3.3.2 Version

---

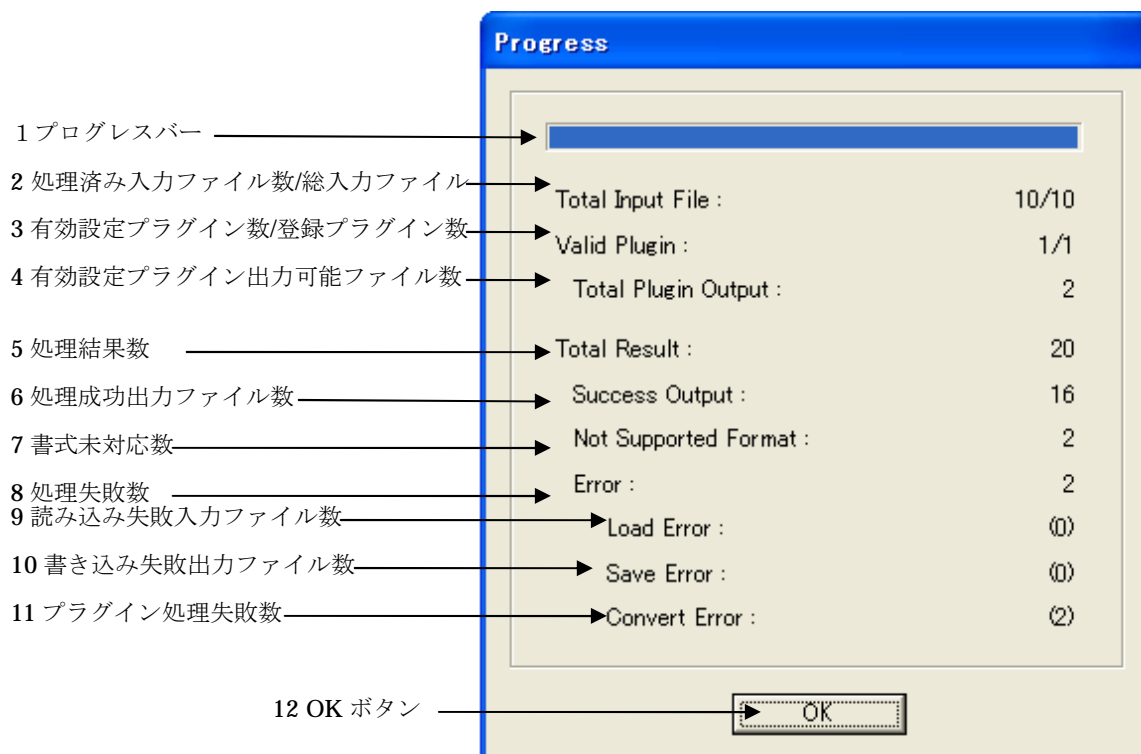
Plugin のバージョン情報を表示します。



<図 3-6> SCP-MA7-SM プラグインダイアログ /Version タブ

### 3.4 プログレスダイアログ

複数ファイルを一括処理する場合の処理状況をプログレスダイアログで確認できます。



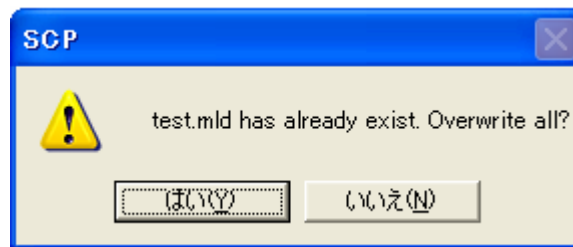
<図 3-7> プログレスダイアログ

No	機能名	内容
1	プログレスバー	処理の終了したファイル数の割合をグラフィカルに表示します。
2	総入力ファイル数	入力されたファイルの総数を表示します。
	処理済み数入力ファイル数	処理の終了した入力ファイル数を表示します。
3	登録プラグイン数	Plugin Setting ダイアログ<3.2Plugin Setting ダイアログ参照>に登録されているプラグイン数を表示します
	有効設定プラグイン数	登録プラグイン数の内、Use 設定が ON に設定されているプラグイン数を表示します。
4	有効設定プラグイン出力可能ファイル数	有効設定プラグインの各プラグインが一指定ファイルに対して出力可能なファイル数の合計を表示します
5	処理結果数	全ての処理数です。 処理成功出力ファイル数＋書式未対応出力ファイル数＋処理失敗数の合計になります。
6	処理成功出力ファイル数	処理に成功したファイル数を表示します。
7	書式未対応数	入力ファイルの書式が未対応であった処理数を表示します。
8	処理失敗数	処理に失敗したファイル数を表示します。
9	読み込み失敗入力ファイル数	読み込みに失敗した入力ファイル数を表示します。
10	書き込み失敗出力ファイル数	書き込みに失敗した出力ファイル数を表示します。
11	プラグイン処理失敗数	プラグイン内の処理が失敗であった処理数を表示します
12	ボタン	処理中の「STOP」表示時の操作で、処理の途中終了が可能です。 処理を終了すると「OK」の表示に変わります。

	「OK」の操作によりダイアログを閉じます。
--	-----------------------

### 3.5 上書き確認ダイアログ

出力先に同名のファイルが存在した場合に表示されるダイアログです。「はい(Y)」の選択によって以降の処理のすべてを上書きモードで行います。「いいえ(N)」を選択するとそこで処理は終了します。



<図 3-8> 上書き確認ダイアログ

## 4 初期設定ファイル

### 4.1 Plugin\_SM7\_N40.ini

SCP-MA7-N-SM( SMAF/MA-7 → MFi4.0(NEC))プラグインで参照するファイルです。  
¥Plugin\_SM7\_N40¥ディレクトリに置かれます。

※ Plugin\_SM7\_N40.ini は、デフォルトのままで書き換える必要はありません。

Plugin\_SM7\_N40.ini の記述例

```
[Caption]
name=<SCP-MA7-N(SMAF → MFi)>←PluginSetting の Caption を任意に指定できます。

[Path]
name=MA7MFi_N40←Output ディレクトリ下のパスを指定できます。

[Use]
Valid=ON←Plugin Setting ダイアログの Use=On/Off (変換を行うかどうかのフラグ)を保存します。
SCP 起動時に読み込みます。
```

## 5 入出力

変換元の SMAF ファイル(or SMAF ファイルを含むフォルダ)を直接ドラッグ &ドロップだけですべての処理を行います。

### 5.1 入力ファイル

SMAF/MA-7

### 5.2 出力ファイル

MFi への変換が成功した場合、入力と同じディレクトリの ' Output' フォルダ 以下(無い場合は自動生成して)の Path で指定されたフォルダに出力します。

Path の設定については<3.2 Plugin Setting ダイアログ>を参照してください。

出力	
出力パス	出力ファイル名
Output¥Path で指定したフォルダ名(YYYYMMDD)¥	入力ファイル名+.mld

(YYYYMMDD は日付:例 20070904 等)

### 5.3 ログファイル

#### 5.3.1 ファイル構成

メインダイアログの' output log file' チェックボックス<3.1 SCP ウィンドウ>をチェックして処理した場合、出力ファイルと同じディレクトリに以下のログファイルを出力します。

ファイル名	内容
Log_YYYYMMDD.txt	処理記録
Error_YYYYMMDD.txt	エラーファイルの処理記録

(YYYYMMDD は日付:例 20070904 等)

#### 5.3.2 書式

##### 5.3.2.1 Log\_YYYYMMDD.txt

result: コンバート結果(Error/OK)  
 in file: 入力(SMAF)ファイル名  
 in param1: 入力(SMAF)ファイルのコンテンツクラス  
 in param2: 入力(SMAF)ファイルのコンテンツタイプ  
 out file: 出力(MFi)ファイル名  
 out param1: 出力(MFi)ファイルの MFi バージョン



out param2: 情報なし(-)

(例)

result	in file	in param1	in param2	out file	out param1	out param2
OK	test.mmf	0x00	0x39	test_scp.mld	4.0	-
Error	test2.mmf	0x00	0x00	NO	-	-
	:	:	:	:	:	:

### 5.3.2.2 Error\_YYYYMMDD.txt

---

エラーNo、エラーコード、ファイル名(フルパス)で構成されます。

(例)

(007)Illegal ContentsType	[C:¥Data¥test.mmf]
(006)Illegal chunk length	[C:¥Data¥test2.mmf]



## 6.1 ファイル処理エラーメッセージ

### 6.1.1 SMAF 読み込み時のエラーメッセージ

No	Code	comment
1	Not SMAF file	ファイルの拡張子が.mmf ではありません。
2	Not SMAF format	ファイルのヘッダが MMMD ではありません。
3	Not SMAF/MA-7 format	MTR チャンクの No が 7 ではありません。
4	Illegal file length	最低限のファイルサイズがありません。
5	Illegal ATSig	CNTI に ATSig が存在しません。
6	Illegal chunk length	チャンクサイズが不正です。
7	Illegal Contents Type	コンテンツタイプが処理対象外です。
8	Illegal CRC	CRC が不正です。
9	Failed in loading of contents info	CNTI チャンクがありません。
10	Failed in loading of optional data	OPDA チャンクにサブチャンク Dch がありません。
11	Failed in loading of track chunk	各トラックチャンクが存在しません。
12	Memory allocation error	メモリの確保に失敗しました。
13	File open error	入出力ファイルのオープンに失敗しました。
14	File load error	ファイル読み込みエラーです。
15	File save error	ファイル書き込みエラーです。
16	File path length error.	ファイルパスの長さが 260Byte 以上です。
17	Folder open error.	出力フォルダに問題があります。(アクセス制限等)
27	Failed in converting of information.	出力文字コードへの変換に失敗しました。

### 6.1.2 変換エラー & 警告メッセージ

No	code	comment
701	CnvMA7SMAF.dll load error.	CnvMA7SMAF.dll のロードに失敗しました。
702	CnvMA7MFi_N.dll load error.	CnvMA7MFi_N.dll のロードに失敗しました。
703	Error Convert SMF.	SMAF/MA-7 から SMF(MA-7 中間ファイル)への変換に失敗しました。
704	Error Convert MFi v4.0.	SMF(MA-7 中間ファイル)から MFi v4.0 への変換に失敗しました。
706	Warning Convert SMF.	MFi v4.0 から SMF(MA-7 中間ファイル)への変換時に警告発生しました。
707	Warning Convert MFi v4.0.	SMF(MA-7 中間ファイル)から MFi v4.0 への変換時に警告発生しました。
709	CnvMA7SMF.dll load error.	CnvMA7SMF.dll のロードに失敗しました。

### 6.1.3 DLL 共有エラーメッセージ

＜6.1.2変換エラー&警告メッセージ＞(703)に対応します。

No	code	comment
E01	Can not convert.	エラーによりファイルが生成できません。
E02	Output buffer length error.	変換したファイルが buffer に入りません。
E03	Illegal format.	無効なフォーマット識別子があります。
E04	Illegal function parameter.	関数パラメータ値が異常です
E05	Illegal event.	未定義のイベントがあります。
E06	Buffer overflow.	テンポラリーバッファ溢れです。
E07	RAM size overflow.	使用 RAM 容量が制限を越えました。
E08	Illegal header information.	読み込み無効なヘッダー情報があります。

### 6.1.4 CnvMA7SMAF.DLL メッセージ

#### 6.1.4.1 CnvMA7SMAF.DLL エラーメッセージ

＜6.1.2変換エラー&警告メッセージ＞ (703)に対応します。

No	code	comment
S001	Duration / Gatetime is out of range.	Duration/Gatetime の長さが 4byte を超えました。
S002	Sampling Frequency is not supported.	オーディオデータの Fs 値が範囲外です。

#### 6.1.4.2 CnvMA7SMAF.DLL 警告メッセージ

＜6.1.2変換エラー&警告メッセージ＞ (706)、(708)に対応します。

No	code	comment
S003	More than one Note messages were found on the same duration in a mono mode channel.	Mono モード指定チャンネルに複数ノートがあります。 (最後のノートを有効とします。)
S004	Note Number(115-127) in SMAF is not supported.	Note 番号#115-127 を抑止しました。
S005	Send level exists during audio note.	オーディオ発音中に SendLevel メッセージがあります。 (SendLevel メッセージは無効とします。)
S006	Effect setting change exists during audio note.	オーディオ発音中に SFX 設定変更イベントがあります。
S007	More than one User Event messages were found on the same duration.	同時刻に複数の UserEvent があります。 (最後の UserEvent を有効とします。)
S008	Total length is more than 2000(sec).	変換後の TotalLength が 2000sec を超えています。
S009	Guideline violation. - The interval of effect setting change is 20(ms) or less.	同一 SFX ブロックに対する SFXchange 間隔が 20ms 以下です。
S010	Guideline violation. - The interval of 3D movement is 20(ms) or less.	同一仮想音源に対する 3D 移動間隔が 20ms 以下です。

## 6.1.5 CnvMA7MFi\_N.DLL メッセージ

### 6.1.5.1 CnvMA7MFi\_N.DLL エラーメッセージ

＜6.1.2変換エラー＆警告メッセージ＞ (703)、(704)に対応します。

No	level	code	comment
M091	1	Q00 / Q0F are specified incorrectly.	Q00 / Q0F が間違っで指定されています。
M093	1	ID for WT(ROM) exceeds the specified limit(28).	WT(ROM)の ID が制限(28)を超えました。
M094	1	ID for WT exceeds the specified limit(128).	WT の ID が制限(128)を超えました。
M096	1	Loop setting is invalid.	Loop が無効です。
M097	1	Loop ID is invalid.	LoopID が無効です。
M099	1	Note not found.	Note がありません。
M100	1	There is no corresponding NoteOff.	対応する NoteOff がありません。
M101	1	Invalid AudioPlay-Stop pair.	AudioPlay-Stop の組み合わせが不正です。
M102	1	START/STOP is specified incorrectly.	START/STOP が指定されていません。
M124	1	Tempo is out of range.	テンポが範囲外です。
M130	1	HV-Script size exceeded limit.	HVScript データのサイズが制限を超えています。
M136	1	FM-Wave data size exceeded limit(1024 sample).	FM 基本波形設定が 1024 サンプルを超えました。
M137	1	FM-BasicWaveID is specified incorrectly.	FM 基本波形の ID の設定が間違っています。
M139	1	Wave format is specified incorrectly.	設定した波形フォーマットが間違っています。
M140	1	LoopStart/End found at same time.	LoopStart/End が同時刻に設定されました
M141	1	MA7-ToneSetting parameter(s) specified incorrectly.	MA7 音色登録のパラメータが間違っています。
M142	1	ToneSetting is not specified.	音色が定義されていません。

### 6.1.5.2 CnvMA7MFi\_N.DLL 警告メッセージ

＜6.1.2変換エラー＆警告メッセージ＞ (706)、(707)に対応します。

No	level	code	comment
M001	3	Q00 is not specified.	Q00 が指定されていません。
M002	3	Q0F is not specified.	Q0F が指定されていません。
M003	3	Q00 is specified more than once.	Q00 が複数設定されています。
M004	3	Q0F is specified more than once.	Q0F が複数設定されています。
M005	3	Q00 is specified incorrectly.	Q00 の設定が間違っています。

M006	3	Q0F is specified incorrectly.	Q0F の設定が間違っています。
M007	3	START is specified more than once.	START が複数設定されています。
M008	3	STOP is specified more than once.	STOP が複数設定されています。
M016	2	Note number of melody instrument is out of range.	メロディのノートが範囲外です。
M017	2	Note number of drum instrument is out of range.	ドラムのノートが範囲外です。
M018	2	Pitch Bend Range is out of range.	ピッチレンジが範囲外です。
M020	2	Master Volume is out of range.	MasterVolume が範囲外です。
M022	2	MonoOn is specified incorrectly.	MonoOn が間違っ指定されています。
M023	2	PolyOn is specified incorrectly.	PolyOn が間違っ指定されています。
M024	2	LoopPoint is specified incorrectly.	Loop 設定が間違っ指定されています。
M025	2	Duration between two notes is too short, in MonoOn.	MonoOn/ALCh 時の Note 間が短すぎます。
M026	2	3D Position Info ID specified incorrectly.	3D 定位位置情報の ID が使用されていません。
M027	2	3D Information ID is out of range.	3D の仮想音源 ID が範囲外です。
M046	2	HV-ChannelSetting parameter specified incorrectly.	SMF の HV チャンネル指定のパラメータが間違っています。
M047	2	HV-Tone parameter(s) specified incorrectly.	SMF の HV 音色登録のパラメータが間違っています。
M048	2	HV-Script ID is out of range.	MFi HV-Script ID が間違っています。
M050	2	User Event is out of range.	UserEvent が範囲外です。(0~15)
M051	2	Event size is invalid.	イベントのサイズが不正です。
M052	2	AudioDataID is invalid.	オーディオデータの指定 ID が範囲外です。
M053	2	AudioData parameter(s) specified incorrectly.	オーディオデータのパラメータが間違っています。
M058	2	Audio data not found for specified ID.	指定したオーディオ ID が存在しません。
M059	2	3D Position Info parameter(s) specified incorrectly.	3D 定位情報のパラメータが間違っています。
M061	2	3D Position Angle is out of range.	3D 定位情報の角度が範囲外です。
M062	2	Movetime of 3D position event exceeded limit.	3D 定位情報の移動時間が範囲外です。
M063	2	Changed position (20msec) of AudioStop event.	AudioStop の位置を変更しました。
M064	2	Duration between AudioPlay-Stop is too short.	AudioPlay-Stop 間が短すぎます。
M066	2	Velocity is out of range.	設定した Velocity が範囲外です。
M067	2	Optional data is invalid.	オプションデータの書式が不正です。
M068	2	Regulated information string that exceeded limit.	文字の制限数を超えたので調整されました。
M069	2	Supplemented FM-Wave data.	波形データを補填しました。
M070	2	ControlChange parameter is out of range.	コントロールチェンジのパラメータが範囲外です。
M071	2	SfxChange ID is out of range.	SfxChange の ID が範囲(0~31/64~95)外です。
M072	2	ToneSetting is not specified.	音色が定義されていません。
M073	2	Unused ToneSetting deleted.	余分な音色があったので削除しました。
M074	2	Unused WT-WaveSetting deleted.	余分な WT 波形があったので削除しました。

			た。
M075	2	Unused FM-WaveSetting deleted.	余分な FM 波形があったので削除しました。
M076	2	Unused AudioData deleted.	余分なオーディオがあったので削除しました。
M077	2	Deleted ToneSetting data with similar bank setting.	同じバンクの音色があったので先着優先しました。
M078	2	Duration between SfxChange-SendLevel is too short.	SfxChange-SendLevel 間が短すぎます。
M079	2	Deleted Fine/CoarseTune that exceeded limit.	Fine/CoarseTune の組み合わせが制限を越えたので削除しました
M080	2	Unknown Marker found.	未対応の Marker を検出しました。
M081	2	Unknown CuePoint found.	未対応の CuePoint を検出しました。
M082	2	SendLevel setting found between AudioPlay-Stop.	AudioPlay-Stop 間に SendLevel が存在しました。
M083	2	SendLevel is not 0 at SfxChange setting.	SFX-Change のタイミングで対応する SendLevel が0になっていません。

## 6.2 メッセージボックスで出るエラーメッセージ

メッセージ	内容
(ログファイル名) can't open.	ログファイルのオープンに失敗しました。
(ログファイル名) path length error.	ログ出力パスの長さが 260Byte 以上です。
Folder can't open.	ドラッグ & ドロップしたフォルダをカレントフォルダに設定できません。
Setting for conversion process is not available.	有効な Plugin Setting の Use 指定がありません。

## 7 変換の注意点

---

ファイル変換についてはイベントレベルの検証は行っていますが、生成されるファイルの各イベント設定の組み合わせまで完全な保証のできるものではありません。

変換・生成されたファイルについてはそれぞれ確認が必要です。

以下に変換経路別の注意点を上げます。

- 1) SMAF/MA-7 では、Audio データとして、4bitADPCM, 8bitPCM(2's complement), 8bitPCM( Offset binary), 16bitPCM(2's complement)が使用可能です。  
MFi4.0 では、4bitADPCM のみ使用可能です。  
よって、MFi4.0 変換時に4bitADPCM 以外の Audio データは削除されます。

この時、以下の警告がログファイルに出力されます。

(M053) AudioData parameter(s) specified incorrectly.

(M058) Audio data not found for specified ID.

- 2) SMAF/MA-7 では、Audio データとして、4KHz から 48KHz まで使用可能です。  
MFi4.0 では、4KHz から 16KHz まで使用可能です。  
よって 16KHz より大きな周波数の Audio データは削除されます。

この時、以下の警告がログファイルに出力されます。

(M053) AudioData parameter(s) specified incorrectly.

(M058) Audio data not found for specified ID.